群馬県立世界遺産センター
令和８年度シンポジウム

SEKAITO

日本生糸の品質改良と世界市場の席巻



絵葉書「原 富岡製絲所 繰絲部ノ一部」（富岡市提供）

幕末の開港以来、主要な輸出品となった日本の生糸は、主に普通糸として輸出市場でシェアを拡大していきましたが、明治末からの日本での養蚕・製糸に係る技術革新による品質の向上は、それまでイタリアなどに依っていた良質な経糸にも使用される生糸のシェアをも奪っていき、1930年代には生糸の貿易市場の８割を占めるに至りました。

昨年度のシンポジウムでの日本の幕末から明治期の生糸生産と輸出の在りようの検討を受けて、今回のシンポジウムでは日本の輸出生糸が世界一になった後、さらにその量を拡大させていった要因について考えます。

令和８年 12月19日（土）

13：00～16：30
（受付開始は12：30から）

会　場　富岡製糸場西置繭所
群馬県富岡市富岡 1-1

定　員　先着 100 名

（無料・要事前申込、詳細は本誌面下部を参照）

プログラム

- 13：00　開会・趣旨説明
- 13：10～13：55
  基調講演「繰糸機と生糸品質－多条繰糸機を中心として－」
  髙林千幸（岡谷蚕糸博物館館長）
- 13：55～14：25
  報告１「一代交雑種の発見と普及 －日本の生糸輸出を支えた技術革新－」
  春山秀幸（伊勢崎市教育委員会文化財保護課）
- 休憩20分
- 14：45～15：15
  報告２「多条繰糸機は生糸生産をどう変えたのか」
  今井洋平（群馬県立歴史博物館）
- 配置転換5分
- 15：20～16：30
  シンポジウム「日本生糸の品質改良と世界市場の席巻」
  石井寛治（東京大学名誉教授）
  木内博文（富岡製糸場総合研究センター）
  髙林千幸　春山秀幸　今井洋平
  コーディネーター佐藤有（群馬県立世界遺産センター）

申込方法

①もしくは②の方法でお申し込み下さい。

①「シンポジウム予約受付システム」右記QRコードより必要事項を送信してください。

②Eメールの場合は下記メールアドレスに「氏名」「電話番号」「参加人数」を明記して送信してください。

Eメールアドレス　sekaiisan@pref.gunma.lg.jp　　※申込締切12月16日（水）

▲シンポジウム
予約受付システムへ

問合せ　主催：群馬県立世界遺産センター　TEL 0274-67-7821　FAX 0274-67-7822
共催：富岡市